

令和6年度第3回太宰府市介護保険運営協議会 議事録

日時：令和7年1月30日（木）18：30～19：33

場所：市役所3階 庁議室

【出席】

（委員）芳賀委員・鹿子生委員・則松委員・渡邊委員
岩男委員・蜷川委員・佐伯委員・後藤委員・江口委員
（事務局）大谷理事・友田統括・柳谷課長・大山課長・末松係長
南利係長・糸山係長・鍋島係長・垣内

【傍聴人】1名

議題1 令和6年度保険者機能強化推進交付金・保険者努力支援交付金評価分析について

令和6年度の保険者機能強化推進交付金・保険者努力支援交付金の評価分析について、報告をしました。

【意見】介護人材の確保の取組が市としてはまだ不十分ということと、介護予防の取組による重度化防止が、仕組みがあっても十分活用できてないということですね。

【意見】市は色々取組をされていますが、さらに取り組むとすれば、小中高に出向いての出前講座を行う等、若い方の興味関心につながるような取り組みが必要かと思えます。

【質問】3ページに記載されている「通いの場」には、自治会のボランティア団体として活動している「ひまわり会」は入っているのでしょうか。
また、4ページ記載の認知症サポーター養成講座について、昨年社協の福祉委員も民生委員もかなりの人数が受講したのですが、得点が0なのはなぜですか。

【回答】今回の評価対象が2022年の実績となっているので0となっています。次回以降は得点が取れる予定です。

【質問】評価指標は毎年変わるのですか？

【回答】毎年大きくは変わりませんが、3年に1度の計画期間に応じて変わったり、どの自治体も点数が取れているような質問はなくなっていったりします。

議題2 介護人材に関する事業所アンケート結果について

昨年7月から8月にかけて市内事業所に向けて実施した、介護人材に関するアンケートの集計結果について報告しました。

【意見】介護の現場は人手不足が大きな問題となっています。賃金の改善や高齢者の雇用、外国人の雇用等も行っていますが、採用に係るコストが大きな負担となっています。しかしながら、介護の仕事はやりがいもあり、介護の仕事をしたという人もいると思うので、市の就職フェア等を活用して、イメージアップも含め、働きたい人を掘り起こしていきたいと思います。

【意見】新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されてから、利用者が戻ってきたり新規利用者が増えたりして、事業所としての業績は上がりましたが、人材確保に余計な費用がかかって、従業員の賃金に反映できていない状況です。私は、70代以降のアクティブシニアの活用で活路を見出せると思っていますので、「通いの場」に来た高齢者の方が何かしら地域貢献とか、自分のやりがいを見つけられるよう、行政がマッチングしてくれるといいなと思います。認知症サポーターや通いの場等、行政は情報発信を増やしてほしいと思います。

【意見】福岡県下には7,000人介護福祉士がいますが、人材不足と言われるのは、太宰府市内でも施設が増えているからです。人が足りないのではなくて、高齢者が増えて仕事が増えて、取り合いになって人手が足りなくなっているという認識に転換して、きついから人がいないのではないという認識を地区全体が持っていただきたいと思います。福岡県下でも高い初任給が出せるところ、職員へのサービスが充実しているところ、ICT導入できている施設は、利用者も勤務者も確保できています。県は外国人の採用に係る費用について補助を出していますので、外国人をいかに活用していくのが、一つの介護人材対策のポイントになります。次に、小中学生が「楽しかった」と感じる取組は、コロナが明けたので少し力を入れて頑張してほしいと思います。また、シニア層の方に、介護は他のシニアの方より稼げる仕事だという認識をもってもらいたいですね。すでに、訪問介護ではヘルパー不足で、サービス提供を断らざるを得ないような状況が出始めています。まずは手始めに小中学生の興味を持てるような取り組みをしていただきたいです。

【意見】 学生や専門学生が、施設実習に行った際、丁寧に指導をしてもらえなかったという声を聴くことがあります。実習生を受け入れる施設は、施設長がしっかりと職員の指導をして、介護職のイメージを悪くするようなことがないようにして欲しいと思います。

【質問】 委員の方の意見を聞いて、市で具体的にこれをやってみようとかいう発信はありますか。

【回答】 就職フェアはぜひやっていきたいと思っています。事業所の方から「行政に何をやってもらいたいか」をお聞かせください。

【意見】 市が人材派遣会社の代わりになるようなシステムができるといいですね。

【回答】 介護の仕事の良いイメージを持っていただくための情報発信などにも取り組んでいきたいと思っています。

議題3 その他

「看護小規模多機能型居宅介護」事業所の今年度2回目の公募の経過について報告しました。

【意見】 全国ネットワークをもつ企業でないと採算が合わないので、東京・大阪の大規模な会社に打診をかけてみる方が、現実的なのではと思います。

【回答】 基盤が大きくグループで事業展開されているところも視野に入れて、今後周知していきたいと思っています。

(その他、質問なし)

【閉会】